

測定項目一覧(ELISA法)別紙-1

測定項目	対象動物	標準曲線範囲	標準操作法の 検体希釈倍率	検体					
		実効測定範囲は検体の 希釈率により変わります。		条件	注意事項	最低必要量(μL) 3重測定の場合	最低必要量(μL) 2重測定の場合	保存	
高分子アディポネクチン	マウス/ラット	3.13~200 ng/mL	25~50倍	血清・血漿	ヘパリン、EDTA-2Na、クエン酸Na使用可	①、⑦	50	50	凍結
アルブミン	マウス/ラット	50~1,000 ng/mL	10,000~50,000倍 100倍(尿)	血清・血漿 尿	ヘパリン使用推奨	①、④、⑦、⑩	50	50	凍結
インスリン(*1)	イヌ/ブタ	188~12,000 pg/mL	1倍	血清・血漿	ヘパリン、EDTA-2Na、クエン酸Na使用可	①、⑤、⑦	80	50	凍結
インスリン(*1)	ウサギ/ウシ/ サル(*3)/ハムスター/ マウス/ラット	156~10,000 pg/mL マウスとラットはさらに 高感度測定可能	1倍	血清・血漿	ヘパリン、EDTA-2Na、クエン酸Na使用可	①、⑤、⑦	80	50	凍結
インスリン(*2)	マウス	78~5,000 pg/mL	1倍	血清・血漿	ヘパリン、EDTA-2Na、クエン酸Na使用可	①、⑤、⑦	80	50	凍結
インスリン(*2)	ラット	100~10,000 pg/mL	1倍	血清・血漿	ヘパリン、EDTA-2Na、クエン酸Na使用可	①、⑤、⑦	80	50	凍結
プロインスリン	マウス/ラット	0.156~10 pmol/L (1.47~94.3 pg/mL)	5倍	血清・血漿	ヘパリン、EDTA-2Na、クエン酸Na使用可	①、⑤、⑦	100	50	凍結
レプチン	マウス	20.6~5,000 pg/mL	5倍	血清・血漿	ヘパリン、EDTA-2Na、クエン酸Na使用可	①、⑦	100	50	凍結
C-ペプチド	マウス/ラット	46.9~3,000 pg/mL	5倍	血清・血漿	ヘパリン、EDTA-2Na、クエン酸Na使用可	①、⑤、⑦	100	50	凍結
GLP-1(7-36)amide	マウス/ラット	1.56~50 pg/mL	5倍	血清・血漿	ヘパリン、EDTA-2Na、クエン酸Na使用可	①、⑥、⑦、⑧	100	50	凍結
アポリポrotein B-48	ウサギ	19.5~1,250 ng/mL	10倍	血清・血漿	ヘパリン、EDTA-2Na使用可	①、②	50	50	凍結
FSH	ラット	0.4~20 ng/mL	2.5倍	血清・血漿	EDTA-2Na使用推奨	⑦、⑧、⑩	150	70	凍結
GH	ラット	0.0313~2.0 ng/mL	10倍	血清・血漿	EDTA-2Na使用推奨	⑦、⑧、⑩	100	50	凍結
LH	ラット	0.313~10 ng/mL	5倍	血清・血漿	EDTA-2Na使用推奨	③、⑦、⑧、⑩	150	50	凍結
TSH	ラット	0.287~28 ng/mL	2.5倍	血清・血漿	EDTA-2Na使用推奨	⑦、⑧、⑩	200	100	凍結
IgE	マウス/ラット	1~100 ng/mL	10倍	血清・血漿	ヘパリン、EDTA-2Na、クエン酸Na使用可	①、⑦	50	50	凍結
マウス抗OVA-IgE	マウス	1.88~120 U/mL	10倍以上	血清・血漿	ヘパリン、EDTA-2Na、クエン酸Na使用可	①、⑦	50	50	凍結
マウス抗OVA-IgG1	マウス	1.88~120 mU/mL	100倍以上	血清・血漿	ヘパリン、EDTA-2Na、クエン酸Na使用可	①、⑦	50	50	凍結
マウスリウマチ因子-IgG	マウス	15.6~1,000 mU/mL	50~200倍	血清・血漿	ヘパリン、EDTA-2Na、クエン酸Na使用可	①、⑦、⑨	50	50	凍結
マウスリウマチ因子-IgM	マウス	15.6~1,000 mU/mL	20~100倍	血清・血漿	ヘパリン、EDTA-2Na、クエン酸Na使用可	①、⑦、⑨	50	50	凍結
マウス抗dsDNA-IgG	マウス	15.6~1,000 mU/mL	50~200倍	血清・血漿	EDTA-2Na、クエン酸Na使用可	①、③、⑦、⑨	50	50	凍結
マウス抗ssDNA-IgG	マウス	15.6~1,000 mU/mL	50~200倍	血清・血漿	EDTA-2Na、クエン酸Na使用可	①、③、⑦、⑨	50	50	凍結

(*1) 内在するプロインスリンとの交差性があります

(*2) 内在するプロインスリンとの交差性は5%以下です

(*3) 検体受入条件があります

確認事項

- ※ 3well/検体で測定をお勧めします。測定依頼の際に3重測定か2重測定かご指定ください。
- ※ 検体条件をお守りください。
- ※ 保存条件にあった方法で輸送してください(ドライアイスを入れ冷凍便)。
- ※ 送料はお客様のご負担をお願いします。
- ※ 検体が測定出来なかった場合でも、標準品、ポジティブコントロールが正常に測定でき、測定操作に誤りがない場合は正規の金額を請求させていただきます。

- ※ 特別な検体以外は検体到着後10営業日以内でご報告致します。アポリポrotein B-48(ウサギ)は15営業日。
- ※ 保存条件をお守りください。(凍結の場合は-35℃以下)
- ※ 妨害物質・溶血・不溶化物・粘性が高い検体は測定出来ない場合があります。
- ※ 測定後残った検体が必要な場合は再凍結後着払いでお送りします(凍結融解の影響を考慮してください)。

検体注意事項

- ①ヘパリン(最終濃度1.2~12 U/mL)、EDTA-2Na(最終濃度1 mg/mL)、クエン酸Na(最終濃度0.8~1.0%)
- ②クエン酸の使用は出来ません。
- ③ヘパリンの使用は出来ません。
- ④尿検体はpHが中性付近にあることをご確認ください。濁り、不溶解物が無いこと。
- ⑤アプロチニンの添加をお勧めします(100~500 KIU/mL)。

- ⑥DPP-IVインヒビターの添加が必要です。
- ⑦血清の場合、分離剤は使用出来ません。
- ⑧エーテル麻酔の使用は避けてください。
- ⑨加熱非動化した検体は使用できません。
- ⑩他の抗凝固剤ご使用については事前にご相談ください。

- アプロチニンを添加する場合で、ヘパリンとの組み合わせでは凍結検体を融解した際、フィブリンが析出すると測定値に影響が出ることがあります。
- 市販されているヒト用採血管を流用して採血しないでください。薬剤の検体中濃度が設計値よりも高くなり測定に影響が出る可能性があります。
- 表中検体最低必要量は2重測定の場合、標準操作法の検体希釈倍率で測定し再測定分は含みませんので可能な限り最低必要量より多く送付してください。